

科目名	国際社会と人権	
担当者	中野 進 / NAKANO, Susumu	
科目情報	教養科目 2 群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2 単位 / 1 年次	
科目概要	授業内容	21世紀の国際社会が緊密になればなるほど、国際社会の法である国際法の重要性は増大するでしょう。国際法の重要性に少しでも気付いて下さい。
	到達目標	現代においては、国内社会の他に国際社会も存在することが理解できる。国際問題の理解が容易になる。
授業計画	(1) 国際法の基礎知識 (2) 国連憲章 (3) 植民地人民の自決権 (4) 国民の自決権 (5) 植民地独立としてのナミビア問題 (6) 植民地独立としての東チモール問題 (7) 植民地独立としての西パプア問題 (8) 植民地分裂としての太平洋諸島問題 (9) 国民による政府変更としての南アフリカ問題 (10) 国家合併としてのザンジバル・タンガニーカ問題 (11) 分離独立としてのビアフラ問題 (12) 自決権の主体 (13) 自決権と自衛権 (14) 自決権の歴史的役割 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・4回おきに小レポートを課す。
使用教材・参考文献	【教】 中野進『国際法上の自決権[増訂新版](普及版)』信山社 2006年 443407735X	
成績評価方法と基準	<方法>テスト (80%)、レポートなど (20%) <基準>出席しない者は不合格とする。	
備考	予習と復習を行ない、且つ、問題点を自分で考える習慣を身に付けるように心掛けて下さい。 教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	